

令和元年度

湖南省外部評価委員会 議事要旨

第1回会議

(令和元年8月19日開催)

湖南省財政課行政・公共施設適正化室

出席者

外部評価委員

| | |
|------|--------|
| 委員長 | 新川 達郎 |
| 副委員長 | 田中 正志 |
| 委員 | 石井 良一 |
| 委員 | 土山 希美枝 |

事務局

| | |
|--------------------|-------|
| 副市長 | 谷口 繁弥 |
| 総務部長 | 萩原 智行 |
| 総務部次長 | 井上 俊也 |
| 財政課行政・公共施設適正化室管理監 | 小林 義幸 |
| 財政課行政・公共施設適正化室室長補佐 | 青木 浩司 |
| 財政課行政・公共施設適正化室主幹 | 伊原 優実 |
| 財政課行政・公共施設適正化室主任主事 | 谷口 達哉 |

開会 午前9時 31 分

事務局

皆様おはようございます。定刻を少し過ぎておりますけれども始めさせていただきます。本日は、公私ご多用の中、ご出席いただき、誠にありがとうございます。令和元年度第1回湖南省行政改革外部評価委員会を開催させていただきます。まずはじめに、副市長から一言挨拶を申し上げます。

副市長

皆様おはようございます。大変お忙しい中第1回目の行政改革外部評価委員会に出席をいただきまして大変ありがとうございます。毎日暑い日が続いております。今日から数日は天気が悪くなって2,3度下がるようでございますけれども、まだまだ暑い日が続いておりますお体の方十分留意いただいてご活躍されるようお願いいたします。平素は湖南省の行政改革、その他の行政の推進につきましてご理解ご協力を賜っておりますこと、この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。すでにご存じのとおり本市のおきましては、平成28年3月に第三次の行政改革大綱を策定したところでございます。人口減少社会の到来や少子高齢化の急速な進行など、社会構造が大きく変化している中で次世代に過度の負担が残ることのないよう行財政改革を進め、総合計画に定めている、きらめき湖南の実現に向けて取り組んでいるところでございます。その行政改革を進める中で、大きな柱として掲げておりますのが、公共施設等総合管理計画でございます。本市が保有している公共施設の多くは、ご存知のとおり建築後30年以上が経過しているものが大半を占めております。老朽化が懸念されているものが多く、今後も継続して施設を維持していくには維持管理経費の増加が予想されますことから、施設の統合廃止などの検討をしておるところでございます。昨年度につきましては公共施設4つを廃止させていただいたところでございますが、条例上の廃止だけで施設そのものは市が所有している状況でございます。今後その施設をどのようにしていくかという問題がございまして、来年度につきましては6つの保育園・幼稚園の民営化をする予定でございます。それから公共施設等総合管理計画の各施設の個別計画の策定につきましても順次進めていく方向でございまして、昨年度立ち上げさせていただきました、公共施設等マネジメント推進委員会を来週にも開催をさせていただく予定をさせていただいております。本日の委員会におきましては、第三次湖南省行政改革大綱実施計画3年目ということでございます。その進捗状況について報告をさせていただきます。今年度令和元年度で5ヶ年計画の4年目ということになってございまして、来年度につきましては行政改

革大綱の見直し作業が始まるということをごさいます、委員の皆様の忌憚のないご意見をいただきまして、今後の行財政改革に生かしてまいりたいと考えているところです。本日は大変お忙しいところご出席いただきましてありがとうございます。本日はどうかよろしく願いたします。

事務局

続きまして、委員の皆様のご紹介をさせていただきます。昨年度からメンバーは変わりありませんけれども、第1回目ということでご紹介の方させていただきます。

滋賀大学 産学公連携推進機構 社会連携センター 教授 石井良一様
梅山公認会計士事務所 梅山税理士法人 公認会計士・税理士

田中正志様

龍谷大学 政策学部 土山 希美枝様

同志社大学大学院 総合政策科学研究科 教授 新川達郎様

本日は、大阪大学大学院 法学研究科 北村様はご欠席の連絡をいただいておりますのでご報告させていただきます。

続きまして、本委員会の事務局職員を紹介させていただきます。

* 職員自己紹介

事務局

それでは、本委員会の成立について報告させていただきます。

委員5名に対しまして、出席委員は4名であります。半数以上の出席があることから湖南省行政改革外部評価委員会運営規則第5条第2項の規定に基づきまして、会議が成立していることをここに報告させていただきます。続きまして会議次第の4. 委員長および副委員長の選出についてに移らせていただきます。湖南省行政改革外部評価委員会運営規則第4条第2項に基づきまして本委員会の委員長及び副委員長は、委員の互選により定めることとなっておりますが、どのように決めさせていただいたらよろしいでしょうか。

〔事務局からの提案〕 との声あり

事務局

事務局からの提案とのお声をいただきましたので、委員長につきましては、同志社大学大学院教授の 新川委員にお願いしたいと思ひます。また、副委員長につきましては 公認会計士・税理士の 田中委員 にお願いしたいと思ひますのでよろしいでしょうか。

[賛成です]の声あり

事務局

異議なしということで、ありがとうございます。
それでは、ただいま委員長副委員長を決めさせていただきました。
湖南省行政改革外部評価委員会運営管理規則第5条第3項の規定によりまして、委員長は委員会を総理するとなっておりますので、これより新川委員長により本委員会を進めていただきたいと思います。それでは委員長、前のお席をお願いします。
委員長、一言だけお願いします。

委員長

改めましておはようございます。ただいまは湖南省行政改革外部評価委員会委員長に選任いただきましてありがとうございます。前期に引き続いてということございまして、ずいぶん長く関わってきたので、もうそろそろお役御免かなと思っていたのですが、今回行革大綱が今年来年でいよいよ仕上げをしていかないといけないという部分で、最後きちんと責任を持つということだろうと自覚しております。改めて現在の湖南省の状況、そして将来に向けての社会経済の動きというのを考えてみたときに、いまこの大綱に基づく実施のための計画の進捗は、本当にこれで良かったのか、深刻に考えているところもございます。将来に向けて湖南省の行財政の体制あるいはその基本的な考え方や枠組みというのをきちんと組み立てていかないといけない、それが行革大綱の大きな狙いではあったんですが、そういうある種の体質の変化というものをできたかどうか、改めて問われているのではないかと考えておりますし、その責任もひしひしと感じているところです。そうした観点からもしっかりと議論を重ねて、これからは湖南省の行財政がより適正にかつ強靱に将来に向けて湖南省の発展に貢献していけるような、あるいは持続可能性を高めていけるような行財政改革を進めていければと思っております。委員の皆様方のご協力をいただきたいと思いますし、事務局の皆様にはご苦勞するとは思いますが、こちらもよろしく申し上げます。

事務局

ありがとうございました。それでは委員長お願いします。

委員長

はい、それではただいま事務局からございましたけれども、私の方で以降の委員会の進行をさせていただきますのでよろしく申し上げます。
それではお手元の議事次第に基づきまして、進めていきたいと思っております。4番まで終わりましたので5番目、ここから私の司会で進めさせていただきます。

5は、湖南省行政改革外部評価委員会の会議の公開および会議内容等の公表についてということでございます。従来からも新たな委員会設置時に審議されておられるんですけども、この件につきまして事務局からご説明よろしく申し上げます。

事務局

それでは5について説明させていただきます。本市の会議等につきましては、透明性の向上と公正の確保を図るとともに市民の市民市政への参画を目的に公開を原則とさせていただいております。この会議におきましてもこれまでと同様に議事録を作成させていただきます。また議事録での発言内容につきましては個別の委員の名前を伏せた形で市ホームページ等で公表させていただきたいと考えております。また、審議会の基本情報として設置目的と委員さんの氏名も名簿として公表させていただきたいと考えておりますので、よろしく申し上げます。なお会議の傍聴に関してですが、湖南省行政改革外部評価委員会運営規則におきましても会議の公開については明記されておりません。ただし先ほども言いました通り開かれた市政を進めていくにあたりましては、原則としてこういう会議につきましては公開の方向で進めさせていただきたいと思っておりますので、この会議につきましてもその方向でお願いしたいので確認のほうをよろしく申し上げます。

委員長

どうもありがとうございました。ただいま事務局からございましたように本委員会の運営規則に基づきまして本会議については原則公開、ということにさせていただきたいと思っております。これまで同様に議事録を作成して発言内容等についてホームページで公開をさせていただく。委員長、委員という表記がございますが、個別各委員の名前は発言のところには出ないということとあります。それから本委員会のメンバー等につきましても市の方針をうけて、本委員会の設置や委員の名簿につきましては公開するという、また傍聴につきましては特に規定はございませんが、本委員会の運営に差しさわりのない限り積極的に傍聴をお認めしていきたいと思っております。従来からその運営で特に問題はなかったという風に思っております。以上議事録、本委員会の基本情報の公開、会議そのものの傍聴について公開ということを進めて参りたいと思っておりますが、各委員いかがでしょうか、よろしゅうございますか。

[結構です]との声あり

委員長

ありがとうございました。それでは本委員会につきましては公開ということで

議事録、本委員会の設置、組織、傍聴につきましては公開という方向で進めさせていただくこととさせていただきます。

それでは傍聴者の方がいらっしゃれば入っていただければと思いますが。

事務局

本日の会議につきましては、あらかじめホームページ等で周知をさせていただいております。受付をさせていただいておりましたが、今のところ傍聴の方はおられないので、また来られましたらお入りいただくなり対応をさせていただきますと思いますのでよろしくお願いします。

委員長

わかりました。今のところ傍聴者の方はいらっしゃらないということですが、会議としては進めさせていただきます。

本日の議題は6番目、(1)第三次湖南省行政改革大綱実施計画3年目(平成30年度)進捗報告について、これが議題としてあがっております。こちらにつきまして、ご意見ご質問を頂けたらと思います。

では事務局よろしくお願いします。

事務局

それでは議題6(1)第三次湖南省行政改革大綱実施計画3年目(平成30年度)進捗報告について、説明させていただきます。

【資料に基づき説明】

委員長

ありがとうございました。それでは30年度の進捗、取り組んでいただきました結果に対しまして各委員からご質問、ご意見をよろしくお願いします。

委員

4ページに計画と改革後の財政状況が示されています。平成30年度につきましては、一番下の差引額が計画では2,500万円のマイナスのところの実績はプラス3億1,100万円ということで、ここだけ見れば計画よりはかなりいい結果になっているかなと見えるんですが、一方で地方債は歳入のところでは14億3,800万円実績は24億で10億増えています。これは推測するに投資的経費のところでは急に必要なもの、例えば耐震とか小中学校のクーラーとかに対応する投資支出にかかる地方債の増加によるものかなと思うのですが、質問としては2点ありまして、1点目は地方債の発行が予定より増えたことの内容と、そのうち自己財源で償還が必要となるものの残高がどういう推移になっているかということ。2点目は、今回差引額が3億1,000万ということについて、計画と比べて市としてこの結果はよかったということなのか、歳入・歳出にこのような当初計画からのプラス、マイナ

スのさまざまな要因があると思うが全体としてどのように評価しているのかということをお伺いできればと思います。

事務局

地方債ですけれども、30年度につきましては交付税の基準の見直しがありまして、それに伴う臨時財政対策債という交付税見合い分の額が大きく交付税が増えた関係で見合い分が増えております。当初よりは臨時財政対策債を多く発行させていただいているのと、繰り越し事業と福祉の事業が少し膨らんだということで、計画からの推移となっております。交付税の算定が、30年度ですと今まで保育園で障がい児保育というのがございまして、今までの基準ですと園児の数、対象者の数じゃなくてその園児の数に対して基準があったんですけれども、昨年につきましては実際におられる障がい児の対象者の数に変更になりまして、うちの場合ですと障がい児教育といいますか福祉に力を入れておりますので、そちらで障がい児の数が多いということで交付税がたくさん入ってくる形になりまして、見合い分の臨時財政対策債の増と先ほどおっしゃっていただいた投資的経費が少しは当初よりは増えたということが地方債の増になっているかと思えます。手持ちの資料の中で元利償還に関しまして、一般財源がどれくらいかかっているかということなんですが、今調べておりますので後ほどにさせていただきたいと思えます。

事務局

全体的には目標数値的にはマイナス2,500万がプラス3億1,000万になっているということですが、こちらの方が行革担当といたしましては予算ベースの中で平成27年度から28年度にかけて策定した予算ベースの中でやっております。これを見ますと28年度からプラスになっておるような状況でございます。こちらの方が当初の計画になっておりますものでここを計画目標を大きく変えるということとはできないんですけれども、そういった中でも行革大綱の中では市税の徴収率の向上なり、人件費の抑制、物件費の削減、補助金等の見直し、繰り出し金の抑制というところを目標数値として別途掲げております。そういった中でその数値を中心に評価していきたいなというところを見ております。ただ例えば市税徴収率の向上につきましてもアップはできておりますけれども、当初の目標はどうだったのかなというところも出てきておりますし、人件費の抑制につきましては目標数値を掲げておりますけれども増えているといったところもございますのでそういったところも検証させていただきまして、次回行革大綱の目標を掲げるときにはこういったところも精査すべきかなと考えておるところでございます。

事務局 先ほどの公債費に対して一般財源がどれだけ充当されているかという率なんですけれども、平成 30 年度決算でいきますと 17.9%を一般財源で充当しております。ちなみに経常的な一般財源の充当は 20.8%、20%ほど一般財源での自己償還ということになります。

委員 今の 4 ページに関してですが、計画と実績があまりにも差が出ている状況です。一例を示すと平成 30 年度の歳入が 166 億が 210 億。令和元年・令和 2 年度の数値をおそらく平成 27 年度数値で作ったと思うんですが、本当にこのまま、これで来年度達成したかどうかというチェックすること自体があまり意味のないことになります。別途中期財政計画は財政の方で作られているんですか。これは行革のために作ったものですね。

委員 あわせてお伺いしたいのですが、今のご指摘のところの歳出なんですが、扶助費の計画と実績の違いがすごく大きいんですね。しかも継続的に計画と実績が大きく異なるので、すみません、そういうものであるということならと思うんですが、計画と実績が大きく異なるということについて、今の石井委員のご指摘とあわせてコメントいただければ。

事務局 今示させていただいているのは、財政課の長期財政計画を計画として示させていただいています。長期財政計画というのはあくまでも計画というところで、実際の決算になると歳入歳出、公共団体ではなかなか赤字というのは出せませんので、黒字になるように補正予算で対応していきますので長期財政計画というのは入出イコールになるように計画されているというのが長期財政計画でありまして、こちらの実績というのが決算ベースでの実績です。ご指摘いただきましたとおり計画では赤なのに実績ではすべて黒になっていますねというのはこういった仕組みになって、長期財政計画と決算を使っているというところでの仕組みになります。長財政計画というのは 5 年単位で、今は 3 年単位で見直しをさせていただいておりますが、その当時に見込める内容について盛り込んでおりますけれども、1 年目に見込みます 2 年目 3 年目で長期財政計画を変更しておりますので。

委員 3 年ごとということとは、最新は何年に見直したんですか。

事務局 昨年度に長期財政計画を変更しておりますので。

委員 その計画はこれとは違うわけですね。

| | |
|-----|--|
| 事務局 | 去年の2月に変更しておりますので、30年度の予算には古い計画のままということになります。 |
| 委員 | 令和元年度2年度も。 |
| 事務局 | 今こちらにあげさせていただいている計画が平成27年度に行革の方で作っている計画になります。去年財政課で作った長期財政計画はこちらには反映されていないということです。 |
| 委員 | そうしたときに、もし昨年度見直しているならば新しい数字も併記するとかなんかしとかなないと、このまま単年度で黒字だからいいという話ではなくて地方債も増えるだろうし基金は何とか維持しているかもしれませんが。財政指標的にはこれでいいんだという話ではないと思うので、ちょっと工夫をしていただきたいなど。 |
| 事務局 | 最新の情報を極力反映できる形で。確認しましたら27年度につくった内容のものということですので、計画的には古いデータになっています。 |
| 事務局 | 行革大綱は27年度から策定を始めましたのでその時の財政計画で、そういった中で今管理監が申しましたように、財政計画も見直していますのでそういった中では若干違ってきていますのでそのあたりも精査させていただいてお思います。 |
| 委員 | これは単年度の収支を載せているけれど、これは行革の計画なので財政構造がどうなったのかというところが一つの指標になるので、今更なんですけど経常収支比率とか実質公債費率とか地方債の累積額とか何かそういうもので管理していくということもないと、単年度で計画とどうだとか収支がどうだということだけではチェックはできないかなという気はします。違う論点なんですけど、前回のこの委員会が確か1月29日だったと思えますけれども、今日が8月19日。前回の時は中間、今回は前年度の進捗の評価なんですけど、今年度はすでに4か月過ぎているので、決算数値を待っていたのかもしれないが、本来であれば6月か7月くらいに前年度の進捗状況の報告と今年度の計画案を議論する場にさせていただいて、中間レビューが年内12月くらいにして意見をもらうというくらいにした方がいいと思います。先ほどの説明ですと今度1月くらいに計画を精査して載せると聞きましたが1月に新しい計画を議論してもあまり意味がないと思うので、30年度の |

実績を評価し、結果を踏まえて 31 年度の計画を議論するという場にしたい方が生産的だと思うのでそこは改善してほしいと思います。

委員長

ありがとうございました。

委員

いろいろ取り組みを紹介していただいて、がんばっておられるなと思いながら拝見しておりました。いくつかお伺いしたいことがございまして、先ほど扶助費の計画と実績が大きく異なる状況が継続して続いているんですけど、補正で対応したりとかはあるんでしょうが、ただ計画の数値があまり大きく違っているのは計画としては好ましくないのではないのかなと思ひまして、一貫して結構な額が実績と計画でずれているところがありまして、それを補足してもらえらば補足していただきたいということがまず 1 点です。それから色々お聞きしてお伺いしたいんですけども、湖南省教育施設管理計画の施設個票とか出てくるのが 1-1-5 とか 1-1-7 ですね。それから個別施設計画の言及があつてですね公共施設の再配置や公共施設の検討にかかる基礎的な情報のデータシートをそれで作るというお話だつたと思ひつていますが個票を拝見しているところでは 1-1-7 は B 評価になっているんですけども個別計画自体の策定自体はあまり進んでいないということでもよろしいでしょうか。4 施設は廃止したけれども、全体的に個別施設計画の個票を作るという話だつたと思ひつていますがその個票、個別施設計画はできていないという状況はあまり変わっていないという認識でもよろしいでしょうか。

事務局

湖南省の場合は公共施設等総合管理計画を 28 年に策定しまして、先ほども申し上げましたように 28 年度から 37 年度にかけて 1 万㎡を削減ということで目標を掲げました。そういった中で総合管理計画の中である程度施設の方向性というのが出ておりまして、そのところで廃止に向けて検討ということがありましたら検討をすすめていただいて廃止できましたら 1 万㎡の目標達成するので 14 施設をピックアップしましてそれを積極的に取り組んでいくような形で当初考えておりました。そういった中で 28 年から 37 年度で 1 万㎡削減できましてもそのあとにまだ 6 万 3,000 ㎡削減しなければならぬということでございまして、国等にしましては総合管理計画の策定をしまして個別計画の策定を 32 年度ということでは言ひつていますし、湖南省の方につきましても今現状すべての施設につきましてもどのように維持管理していくかという個別計画を策定する取り組みを進めているところでございまして。そういった中で行革本部会議にかけた中でもまずは施設の

利用状況をもう一度、公共施設等総合管理計画の中ではある程度の施設の方向性は示しております。ただ具体的な取組は示しておりませんし、そういった中のものをもう少し個別計画というものを各施設ごとに作ろうと考えているのと、各施設の利用状況なり老朽度調査を行革担当の方が担当課と共に確認を取ってましてそれを基に最終として各施設どのように持っていくかを検討しているところです。

委員

はい、すみません。率直に言いますとそれでBかなという感じなんです。というのは1万㎡のお話は30ページの票のところですね、やっぱり出てきてなくて、ここに出てきているのは建設後30年以上の施設が全体の51.7%を占めていて大きな問題だということでこれをどうするか検討すると書いてあるんです。そこではですね個別計画を策定し進捗を管理するということがあって、やっぱり個別計画の策定が前提なんです。それは28年度最初からそうだったはずなんです。繰り返しご指摘させていただいた覚えがあるんですけど、1万㎡が達成できたからよかったねという話ではなくてですね、おっしゃっていましたが6万㎡ある中でどういうふう策定していくか全体的な計画を出さなければいけないということは28年からの話のはずなんですけれどもまだ個別計画ができていない状態なんですかということですね。個別計画ができていないという状況は29年度とあまり変わってはいないのではないかとということで、それで評価はBですかということなんです。

事務局

こちらの30ページの票にあります個別施設計画の方なんですけれども、この28年当時につきましては、当初の目標数値をクリアするための計画にさせてもらっているところであります。そういった中で28年度から37年度までに1万㎡という目標をかかげていましたので、とりあえずその目標を達成できるように個別計画を全体的な中で一部個別計画を作らせていただいていたという状況であります。ただその後それではいけないだろうということで、市の方でも全体的に個別計画を作っていくことになりましたので、こちらの方も30ページにあります、まずは28年度から37年度までに1万㎡削減するためには14の施設の個別計画を策定すればいいだろうと思っておったんですけども、今後の湖南省の後世に負担をかけることはできませんので全体的な個別計画の策定というような形で今は思っています。こちらの方も計画の見直しを書かなければ実際の進捗がどうであるか明らかにならないような感じがしますのでこちらは検討させていただきます。

委員 個票の原票が 30 ページだと思いますが、そこでの取組内容は個別計画を策定し進捗を管理するとなっているので、個別施設計画は全体的にここをどうしますかという、計画的に課題を確認していく元データだと思います。それは 29 年度の時も申し上げたと思いますが継続的にできていない状態、まだできていませんということが続いているのは、参加している委員としてどうかと思っている状態なんです。1 万㎡達成できてよかったですねという話ではなくって、今後 40 年間で必要となる 12 億 9 千万をどうするか、1.8 倍が必要となるそこをどうするかということが課題ですね、その課題に対して 1 万㎡がどれくらい効果があったのか、これでなんとかなりますよねと測定するのはやっぱり個別計画を前提にしたトータルな見直しなんじゃないかということは継続的に申し上げてきましたし、1-1-7 の 30 ページの票もそういう前提であるかと思しますので、そういう認識で見ててよろしいですか。私がそう思っている認識自体がここの行革の認識と違うんでしょうか。私自身は全部の個別施設計画が策定されるということがトータルでの管理の前提だと思っていて 30 ページの票もそういう前提で書かれていると認識してコメントしているんですがそうではなくって 1 万㎡削減すれば当面はよかったねということだということによろしいですか。

事務局 これを作った当時は、前担当にも確認をしましたが 28 年から 32 年でしたので当初の 10 年間の目標に合わせた個別計画をといることを聞いておりました。ただ国等の動きもありますし湖南省につきましても全体的に 1 万㎡はほぼクリアできるだろう、保育園の民営化もありましたら正直なことクリアできるかなということがありますけれども、その後の年度ですね、私も担当する中で 38 年度から 67 年にかけて 6 万 3,000 ㎡削減ということになりましたら、本当にすべての施設について個別計画を策定しなければ各施設維持管理、老朽化もしてきますので優先的に順位をつけて施設の管理をしていかないとはいけませんのでそういった観点から全体的な個別計画を策定ということでもちょっと方針を転換しているような状況でもございます。

委員 当初は全体的な策定ではそもそもなかったということですか。

委員 だいたいこの自治体も当初 10 年くらいしか見えないということだったので。

委員 それでは私の認識違いだったということ。ただ全体的にはそれは必要になってくると思いますので、それはお取り組みいただきたい。

| | |
|-----|---|
| 委員 | おそらくこの5年間で公共施設等総合管理計画自体を見直すんじゃないですか。そういう予定じゃないですか。 |
| 事務局 | 現状言っていたとおりの市さんでも、だいたい10年間の目標を立てておられますけれども、その後のことを考えておかなければ結局施設を今後長寿命化していこうとしましてもどこに優先的に投資していけばいいのかわかりませんので、そういった観点からすべての施設について個別計画を策定するという形で取り組みをすすめているところです。そういった中で総合管理計画ができてからも、市でもいろんな施設が増改築されたり新規で建てられた施設もありますので、絶えず更新していかないといけないと思っておりますし、ある程度5年というのはいろんな計画でも、5年くらいで計画を見直ししていかないといけないと思っております。土山委員が言ってくださったように個別計画を、ある程度この時期には絶対に考えるとかそういったものでもいいですし、そういった個別的な計画は必要だと担当の方でも思っています。 |
| 委員 | 49ページ2-2-1です。市営住宅跡地の民間譲渡の地図の話なんですけれども、これは去年がCで今年はBとなっています。Bになった理由が広範囲に渡る地図訂正が必要なことが判明したため、来年度の地図訂正作業に向けた地権者の特定や課題整理を行ったと書いてありますが、状況としては、去年より売却に向けては遠くなったということですよ。 |
| 事務局 | 売却を進めるうえで手続き上必要な課題を整理しまして、それに組み込んだという形です。 |
| 委員 | そうなんです。だから新しく課題が出てきたということがわかりますし、それは大変だなと思うんですけれども、目標としてゴールから見れば遠くなった。 |
| 事務局 | 今おっしゃるとおりでして、目標は29年度までに済ますということでしたので、これが遅れが生じたので、そしたら新たな目標で絶対不可能なものにつきましても、そうしたらいつまでに公売していくかという形でもう一度計画を見直してるところでございます。 |
| 委員 | どういう課題なんですか、公売にあたって広範囲に渡る地図訂正が必要ってことはどういうことなんですか。 |

事務局 公図とかそういったもの、担当から聞いているのはこれに合致するかわからないんですが、通常土地を売却したりするときには土地の筆というものを確定させまして、そういった中で面積確定等をするんですけども、そして位置関係もはっきりさせるんですけども、そういったところで土地の分筆作業も出てくるんですけどもそのところを整理しようと思いますと、いろいろとこういった手続きも必要というのが判明してくる、そういったところを整理しているところですよ。

委員 民間譲渡が目的なんで、課題整理を行って、いつ売却するんだという新たな目標がコメントされていないということがいけないと思います。それも何もなくしてただ課題整理を行ってB評価というのはどうかと。1年遅れるとか2年遅れるとか明確になっていけばいいですが。

委員 たぶんその地図訂正っていうのは所有権の関係とか、そもそもそこが問題のある土地だったんですか、というところもあるんですけども、事前にわからなかったのかなっていう。

委員長 それも本当は28,29年度で公図の現況の確認と所有権の確認をして公売に入る予定だったはずなんですけども、公図そのものが明治期に作られた手書きの台帳で今日の正確な位置情報に基づいたものじゃなくてどこが境目なのか全然わからない状況。まったく放置して整理しないでこられたので10数年前から国交省あたりでは補助金出してやっていただいけれどもどうしても遅れがちで、あわせて行革も進まない状況だろうというように思っています。ですからこれはDなんです評価は。

委員 B評価っていうところがおかしいですよ。

委員 なので当初思っていたより、売却が現状では難しいことが明らかになったということだと思います。それがBだっていうのは納得いかないし、どうしてそんなB評価なのかということを考えますと、報告の全体的にやったということが中心の報告をいただいている、やってこうなりましたという報告ではあまりないですね。やってこうなったということが、計画の結果のはずなんです。例えばやったのでBです、事業どおりにやったのでAです、Bですというのがいろいろあるんですけども、それも内容を拝見しているとこれ本当にAなのかBなのかというところがあって、やったということが中心になってしまうのはわかるんですけども、やってこうなったということがご報告いただ

くことなんじゃないかなと思っています。例えばふるさと納税のところでは1.6億円になったのは素晴らしいと思うんですけど、ポータルサイトに5つ出すとか、返戻金の見直し、おそらく返礼品の見直しにかかる金額が増になるのではないかなと思うんですが、数字としていくらプラスになったのかということが、前の28年度の個票のところではトータルでいくらというのが出てきているんですけども、今回はやりましたということ1.6億円のことしかなくて、差し引きで結局いくらプラスになったのかというようなことはあんまり書かれていないんです。すみません、目についたので1-1-5①の26ページのところです、29年度に施設は閉館してるんだけれども、601千円必要と書かれていて、管理棟を貸し出しているのこのお金がどうなったのか、つまりコストカットだけが行革ではないですが、念頭コストカットを喫緊の課題としている計画されている行革として、じゃ30年度ここに出てたお金はどうなったのかというのがないなと。さきほどのふるさと納税のところでは1.6億になったのは非常に良いことなんだけど、1.6億にするためにどれくらい支出が増えているのかということについてはですね、数字としてあまり報告がなく、やってこうなったということが知りたいと思ってまして、全般的な意見になってしまったので、個別적으로는先ほど申し上げた団地の売却の話ですとか、1-1-5のところですかふるさと納税のところですかそのあたりがやってどうなったかということをお伺いしたい。確かに現実的ではない計画はやっぱあれは現実的ではなかったという風にいうことは否定するものではないんですけども、じゃどうなるのか、どうなる見込みなのかということとはもう少しやりましたということだけではなくていただきたいなと。

事務局

今言っていたように、反省してるんですけど49ページの市営住宅の跡地の民間譲渡に関しまして、そうしたら最終年度別に計画作りましたら、この年にここまでするという計画を作って、最終的にはこの段階で売るという風になっておりませんので、明示ができておりませんのでそこを修正させていただきたいと思っておりますし、やはり最終どういう風に到達するかそこまでの段階までにこの年度までにここまでやるということをおこなうのであればBでよかったのかどうかというのが判断できませんので、単年度別で進捗管理で遅れが生じてたら概ねできていたら80かもしれませんが、全然できてなかったら50以下ということになる、そこはちょっと見直しをさせていただきたいと思っております。それからふるさと納税の方なんですけれども過去のもの、言っていたように効果が書かれています。こちらで持っているデータによりますと大体ふるさと納税も手数料的にといいますが、返礼品は約3割と聞いていますし、それから民間のポータルサイトには委託料がかかっ

できます。そういった形で 28 年に書かれていますように 30 年につきましては 1.6 億円入ってきてますけれども、8,000 万くらいは経費がかかっています。そういったところもしっかり押さえていこうと思っておりますし、もう少しやはり行政の事務どのような事務にしましても市民の皆さんに最終評価していただかないといけませんし、見える化を図っていかないといけないということもありますので、もう一度注意させていただきたいと思えます。

委員 あわせて、しつこくてすみません。資料の 2-3-1 52 ページのところですね、やっぱり昨年度まではこれくらいの金額というのが出てきているんですが、今年度は今後検証しますという言い方で出てきてないので、ただ手数料を改正してどれくらい出入りがどうだったのかというのは出てくるんじゃないかなと思いますので、そういうやってどうなったかというところをもう少し充実させていただきたいと思えます。

事務局 52 ページのところの検証のところですが、目標設定のところ改定の検証ということになりましたら 31 年の 4 月からやったら 3 月 31 日までになって検証の方が翌年にならないとできないかなということがございましたのでこういったことになっております。次年度に実施するということになってますし、またしっかり押さえさせていただきたいと思えます。

委員 28 年度 29 年度は書いていますので、それと比べてやっぱり落ちてるとなということがわかります。ありがとうございました。

委員長 そのほかいかがでしょう。

委員 44 ページの税外未収債権の徴収強化ですけれども、この計画につきまして各年度同様で 2 債権以上の前年度収納率を上回るというのが目標になっていますけれども全部で 12 債権あってその都度 2 債権が上回るというのは、残りの 10 債権は下回っても目標達成みたいに読めてしまって、目標として適切ではないと思えますので、もしその理解でいいなら計画の設定の仕方を見直していただいた方がいいのではと思えます。

事務局 ご指摘いただいたように、12 あって 2 つ上がってあとの 10 はマイナスになってもいいのかという基準になってしまうので見直しの方をさせていただけたらと思えます。

| | |
|-----|---|
| 委員長 | 2 債権以上という一応目標設定ですが。 |
| 事務局 | 現実的には。 |
| 委員 | 22 ページの東西庁舎の話なんですけど、これは庁舎の建設を進めるという工程になっているわけですが、まずは実施設計については昨年度と今年度にかかるわけですよ、今やっている最中というところですかね。さっき言ったみたいに 31 年度以降の目標が見直しされてないので本来であれば 31 年度、令和元年度に直さないといけないと思うが、実施設計と庁舎建設工事の実施ということですよ、彦根市役所も 3 回入札しても誰も手をあげないというすごく厳しい状況になっていて、きれいな絵が描かれていると思うんだけど、本当にこのとおりできて、ちゃんと庁舎が遅滞なく、1 年遅れると相当な費用がかかるがきちんとできるのかどうか、そこを確認したいんですが。 |
| 事務局 | 庁舎整備に関しましてはご存知かと思いますが、住民投票の要望が出てきたり予算がぎりぎり通ったりと危ない橋というか。彦根・近江八幡と県内でも庁舎に対しては逆風というか、どちらかというマイナスイメージがつきまっておりますので庁舎整備の方も検討をしているところです。ただ行革としましては計画どおりなんですけれども、さきほどおっしゃられたとおり実施設計につきましては今年度もやっておりますので、31 年度のところに実施設計、工事の実施という書き方が本来だと思いますので、修正をさせていただきたいと思います。いろいろ行革、財政ではわからないことがありましてどれだけ進んでいくのかというのは今のところ不透明な部分が多いように聞いております。 |
| 委員 | これは行革のプランなんで、何か設計して工事したというよりも、これによって例えば公共施設の面積がプラマイでマイナス何㎡になった、コストがどれだけ削減したということが備考欄に書かれてはじめて議論ができる。先ほどの先生の話と一緒にですが、やりました・やってますとかいう話だとなかなか議論ができないと思います。それから 23 ページなんですけど公立保育園の 6 園の民営化は結構思いきったことを実施したな、今してるんですよ。これで公立の保育園はなくなったんですか。 |
| 事務局 | 4 園残ってます。 |

| | |
|-----|--|
| 委員 | この保育士さんというのは残った4園に移管するということですか。 |
| 事務局 | 今説明会等をさせていただいておるんですけども、私どものまちの規模でほしい100人保育士が正規の職員でおりますが、人口が倍くらいの町でもほしい普通40~50名なので、民間の方に移っていただくか配置換えをするかで、保育園には適正規の職員を入れていくと思っております。 |
| 委員 | そうすると一般職員への移行というのも視野に入れて今検討しているということですね。難しいことかもしれませんが、まだ若い職員さんもいらっしゃるの、先ほどの定員管理も少し不足しているということも勘案してうまく職員を活用してほしいと思います。もう1点、この秋から幼児教育無償化という大きな制度改正があります。これによって湖南省の待機児童は今の程度あるのか、もしくはそれがあって今後増えるのかってところはどうですか。 |
| 事務局 | 待機児童自体は変わらない。 |
| 委員 | いないんですか。 |
| 事務局 | あります。待機はたぶん来年度も0にはならない。20~30名ある。ただ新規に開園していただくのでそういうところができないと解消できない。 |
| 委員 | そういう意味でも民営化とか民間の活用が有効と思います。29ページの市民プールの見直しなんですけれども、そもそも27年度に作った計画の目標で廃止も視野に入れて検討する、と記載があり、廃止を前提に検討していると思っておりますが、30年度になってもまだ廃止継続の検討ができていないし、差引損益も80万から163万円と拡大していることですね、果たしてこの後どんな検討をされるのかなと気になりますけれども、廃止を前提に5年かけてやっぱり検討していくということですか。公共施設の削減も関係してきますけれども、ちょっとこの書きぶりでは中途半端というか、難しい状況なのかもしれませんが、最近各地で市民プールも廃止していると思うんですけどもしっかりやってほしいなと思います。 |
| 事務局 | 基本その年としては廃止に向けて検討ということで進めています。 |
| 事務局 | 本格的に、施設の老朽化も進んでますので、今年度は休止している状況で |

す。本当に今年度でそういう方向性を定めていかないといけないと思っておりますし、そういった中でやはり市民利用の施設につきましては、短期間で検討を進められたらいいですけどなかなかそういうこともできないということで、代替案ということもありますのでそこらへんは慎重に進めてます。ただ今年度も休止している状況でございますので早急に今年度中にはどうかたちで考えております。

委員

本来は結論出して、それでどうするかを議論したほうが賢明だと思います。最初の5年間かけてまだ全然進んでない印象をうけます。31ページの補助金の削減なんですけれども当初の目標が5年間で削減累計が3億円ということで、1年目はがんばってますけれども、その後は4,000万円の目標が80万円とかですね、予定通りいかないイメージがあるんですけれども、先ほど今年度事業を補助金を洗い出して検討するという話は、本来最初の28年度にするべき話だと思うんですよね。これも遅れがちだなと思います。ものによっては手間なものもあるだろうけど少しペースが遅い。

事務局

今言っていただきました補助金の見直しは28年当初にだいぶやりました。全体をやりました、その次の年にも全て見直せるかという金額というのはなかなか落とせない部分もございます。そういった中ですべての施設を一括してやるというのは労力的にも非常にかかるものがあるので、効率的にやろうと思うと3年に1度くらいはその補助金につきましては精査していく必要があると思いますので、全補助金非常にたくさんありますのでそれを3つくらいのグループに分けて3年サイクルで見直していこうという形で思っております。そういった中で目標数値をできるだけ達成するように努めていきたいと思っております。

委員

そういうことを本来は今年度の計画に書いてここで議論したほうがいいと思います。続いて、36ページなんですけれども29年度に30年度末までに公立甲賀病院の地方独立行政法人化を目指すことに決定したということで平成30年度についてそのコメントはないですね、まだ委員会で議論してなんだかんだということなんですけれども、これは決定をしたんですか、してないんですか。

事務局

今現在31年の4月から独法化で動いております。

委員 | それじゃそれをきちんと書いておくべきかと。

事務局 | そうですね。実際 31 年の 4 月から独法化で動いております。

委員 | 45 ページなんですけれども、これは目標が甲賀広域行政組合の市税滞納整理移管事務の見直しという目標だったわけですね、平成 30 年度に平成 29 年度をもって移管を廃止ってことは、移管をしないってことですか。どういことですか。

事務局 | こちらのほうは 29 年度ですべて移管をしないということで自前でやるということになっています。

委員 | 今まで移管していたのを、移管をやめたということだから一応目標は達成したということではないんですか。

事務局 | 今後の徴収体制について協議・検討を行うというところの中で、今までですと甲賀市と湖南市の 2 市で徴収事務をやっていましたが、4.5 年前に甲賀市さんが抜けられまして、湖南市だけが甲賀広域行政組合さんへ移管をしておったんですけれども、効率的にどうなのということもありまして、結局は移管をやめてしましまして、30 年度から自前で。

委員 | 本来なら、31 年度 32 年度はなくなるわけですよね。移管ということは。あと本来はここに書くべきことかわかりませんが、移管を廃止したことでどれだけの効果が出たのかということが備考等に書かれた方がいいなと思います。

事務局 | 51 ページですが、これは目標が企業立地を促進するという目標で、29 年度はそういうことで書いてありますが、あとですね急に龍谷大学の農学部と新製品の開発などの話になって、本来企業立地を促進して市の税収を増やすというところを目標としてたはずが、書きぶりがずっと変わってくるわけです。これで評価が A というのは目的と手段がちょっと違っちゃってるかなと印象を受けるんですね。養蜂だとかエンサイなどをやってるんだと思うんだけども本来の目標はどうだったのかなというところのうえでこれは表現されないといけないなと思います。

事務局 | 産業振興と企業誘致の推進ということで企業・大学等による企業立地ということが実施計画となっているので、少しぼやけてきている。

委員 そうです、なんかちょっと違う。

委員長 そのほかいかがでしょうか。

委員 もうすでにお示しいただいたものかもしれませんが、37 ページの広域行政の負担割合の見直し、私が聞き逃していたのかもしれませんが、一覧表では B になっているのですが、ここでは 6,000 万円増加したということで D 評価なんですか。37 ページの方は D になってるんですが。

事務局 すみません。こちらのミスでございます。こちらの方 37 ページは D 評価ですが 10 ページの方では B 評価にさせてもらってます。担当課の方ははじめ D 評価で出してきたんですが、中身を確認させていただきましたら、実際問題負担金の方を削減するという事になってるんですけども。

委員 経緯はわかっています。袋のお金がかかったからですね。はい、何となくもやっとしたものが。災害とか思ってもいなかった事態が起こって目標が、それがなかったら目標が達成できたはずというのは、そうかなと思うんですけど。結局かかるお金は増えてるんだよなっていうのがもやっとしているところです。あとすみません、先ほど言及しなかったんですけども、言わなくていいかなとも思うんですが、人件費のところですねやっぱり逆に計画以上に減ってるというのは定員管理が適切ではないということもありえますので、トータル的人数から見てもそれで評価を変えるようなものではないんですけども、退職者で補充しているので大丈夫ですというお話なんですけれどもそれではいろんなところが、正規の人は本当はどれくらいいるのか、どれくらい退職者がおられて、正規と非正規で雇用されている割合はどれくらいなのかとかですね正規の職員が減るとことは正規の職員がすべき仕事ができなくなるということでもあるかと思うので、再任用であっても。その職分の検討とか労務管理のところがもっと重要な課題になっていいはずなんで、退職者補充できるからいいんだということであれば、全部やめちゃったってことにもなりますので、そこはもう少し数としての人ではなくて労務管理のところでももう少し精査されるものがあるのかなって、それは今後適正管理計画自体を見直しされるということもありますのでそこは見させていただくと、再任用の方に限らず自治体職務の現場はどのくらいの非正規の方でどのくらいの仕事をカバーしているのかということは、おそらくもう少し定量化されてどれくらいの人がいるか、定数計画を正規の職員だけではなくて非正規や退職者の方も含めた計画ということで考えておかれれば、既に 3

委員長

割 4 割は非正規の職員さんになってると言われているところもあるところでは現実的だと思いますので、行革の話からは少しはみ出してしまうかもしれませんがそのような定数管理をされておかれるのがいいのではないかと思います。

そのほかいかがでしょうか、時間もだいぶ過ぎてきましたが、よろしいでしょうか。それではただいま各委員からいろいろご意見いただきました。特に計画進捗状況についてはどうしても、ここまでやったということで評価をしまいがちですが、本当に行革の効果というのがどうだったかというところに着目してもう一度精査をしていただきたいということをご意見いただきました。個別にはやはり公共施設の維持管理や統廃合、プールの問題も含めて主要・重要な施設そのものの管理も本当にちゃんとできているのか、それから個別施設についていえば、計画を作るということでしたが本当に取り組むのであれば今期計画の中で個別施設の管理計画というのを出していくらの勢いがあるのもいいのではないかなそんな話もありました、今後に向けてはやはり様々な場面での例えば補助金の問題、あるいは税の平等徴収というのをより具体的にしていく方法であるとか、このあたりについて従来の方針が必ずしも将来の見通しにつながっていかないそういう場面が出てきておりますので、これはもう計画を変えていくしかないそういう場面もたくさんあるかと思います。このあたりも含めて今年度しっかり検討して、来年が計画終わりですので、逆にこの段階で見直すべきものは見直して考えていくということは必要なんじゃないかと思います。これはもう一度改めて全体精査をしていただいてという風に思います。なお人件費の問題については保育士さんの問題であるとかあるいは現在の総退職者の増加傾向であるとかも含めて今後の方針の変更が必要とされるような定員管理あるいは人件費そのあたりもしっかり見直していただく。行革の仕事の部分と少しずれるところもありますが、行革に大に関わっていきますのでどういう見通しで組織体制人員体制をしっかりしていただいていくのか、その段階を私たちもしっかり注視していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

ということで本日の議題の(1)第三次湖南省行政改革大綱実施計画3年目(平成30年度)進捗報告について については以上にしたいと思います。事務局におかれましては各委員からのご指摘を踏まえて今回の外部評価結果を各課にも伝えていただき進捗状況についても所要の修正があればお願いをしたいと思いますし、31年度の取り組みについての反映というのもしっかり進めていただき、また32年度に向けての計画づくりにしっかり備えていただければと思います。本年度内の次年度に向けての進め方や

本年度の財政への反映の仕方このあたりも工夫しておいていただきたいと
思います。それでは議題の(2)その他について、これについて最初指摘が
ありましたけれども、時期的にどうなのということがありましたが、そのあた
りも含めて議題の(2)について事務局からお願いします。

事務局

本日いただきました意見を踏まえまして、行革担当としましても確かに言っ
ていただいたとおり目標の設定の中で判定が非常に難しいというもあり
ますし、ここまでできたら実施計画の管理でここまではやっておくという目
標設定にしてあるので、それまでに達成しなければいけないということもあ
りますので、もう少し検討させていただきたいと思っておりますし、それと今年度の
取り組みにつきまして調整を図っている中で各課の方から前期の報告を 10
月 11 月にまとめさせていただきたいと思っておりますし、出来ましたら 12
月か 1 月にもう一回調整を取らせていただいて、2 回目の会議を開かせて
いただきたいと思います。12 月 1 日に皆さんのご都合をきかせていただい
て皆さんのご都合のいい日を設定させていただきたいと思っておりますのでよろ
しくお願いします。

委員長

ありがとうございました。それではただ今ご説明いただきましたが、12 月か
1 月に次回ということでございます。極力先ほどの委員のご指摘も踏まえて
今回の議論を踏まえた進捗結果の最終版、あるいは令和元年度の進捗状
況への反映、できれば令和 2 年度どういう風にしていくのかという方針、こ
のあたりまで次回入らせていただければと思いますので、よろしく願いい
たします。各委員よろしいでしょうか、ありがとうございました。それでは以
上を持ちまして本日の議題はすべて終了いたしました。ありがとうございました。
いろいろご意見いただきましてありがとうございました。事務局は大変
ですけどがんばってやっていただければと思います。

事務局

新川委員長をはじめ委員の皆様、熱心にご議論いただきまして誠にありが
とうございました。本日いただきました意見を早速調整しながら反映してい
きたいと思っておりますのでどうぞよろしく願いたいと思っております。それ
ではこれを持ちまして、第 1 回湖南省行政改革外部評価委員会を終了させて
いただきます。本日は誠にありがとうございました。

閉会 11 時 23 分